

低流動性資産等に関する情報提供依頼

1. 趣旨

- ・ 年金積立金管理運用独立行政法人（以下、「当法人」という）は、年度計画の記載事項について研究を行うこととしているところ。
- ・ こうした状況を受け、今般、「低流動性資産等に関する情報やアイデア」を募集します。頂いた情報やアイデアを参考に、今後、調査研究を検討します。

(注)「情報やアイデア」とは、学術研究、投資手法、投資技術、システム、インデックス、分析ツール等を含みます。

令和5年度計画

調査研究

- (1) 経済や社会の大きな変動、急速な技術の進展に対応し、長期的な視野から基本ポートフォリオに係る理論と革新的な運用戦略を調査研究するためのプロジェクトを今後5年間の調査研究計画の中核として立ち上げる。
- (2) 運用の多様化・高度化、サステナビリティを重視した投資活動の推進、リスク管理先端技術の活用等に資する調査研究及び持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた官民の活動が、長期的な被保険者の利益と、安全かつ効率的な資産運用に資することの検証等に係る調査研究については、管理運用法人の業務課題を踏まえながら、適時適切に実施する。
- (3) サステナビリティを重視した投資活動の推進に向け、投資における ESG の考慮について調査研究等を行う。

2. 募集する内容

低流動性資産等に関する情報を広く募集します。

ご提供いただきたい情報（下記項目は例示です）：

- ・ インフラストラクチャー、不動産、プライベートエクイティを含む低流動性資産等の基本的な情報（市場環境、市場規模、売買高、投資対象の種類、学術的な知見・論文に関する情報）
- ・ インフラストラクチャー、不動産、プライベートエクイティを含む低流動性資産等の測定方法（期待リターン、リスク、パフォーマンス評価、ESG 評価に関する測定方法）
- ・ 現在当法人が運用対象資産として考慮している資産（国内債券、国内株式、外国債券、外国株式、不動産、インフラストラクチャー、プライベートエクイティ）以外の低流動性資産等に関する基本的な情報（例えば、森林、農地、金、暗号資産（ビットコイン等）など）に関する基本的な情報、海外年金基金の投資事例・投資哲学・組織体制、機関投資家がどのようにポートフォリオへ組み込んでいるかなど）

【その他】

- ・ これらの調査研究に必要となる費用の概算
- ・ その他当法人が留意すべき事項など

3. 情報のご提供方法について

(1) 募集期間

2024年4月19日（金）まで

(2) 提出方法

E-mail にファイルを添付し、RFI_Chosa@gpif.go.jp 宛にご提出ください。

メールタイトル：【情報提供】低流動性資産等に関する情報提供（貴機関名）

ファイルフォーマット：MS Word、PowerPoint、PDF

資料の様式：任意様式の A4 サイズ

※ 資料内に、連絡先（貴機関名、部署名、役職名、氏名、住所、電話番号、メールアドレス）をご記載ください。

言語：日本語、英語

(3) 連絡先

お問い合わせは下記 E-mail アドレス宛にお送り下さい。

E-mail：RFI_Chosa@gpif.go.jp

〒105-6377 東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー7F

年金積立金管理運用独立行政法人 調査数理部

4. 募集について

(1) 情報提供機関の所在地は国内、海外を問いません

(2) 募集に関する説明会は開催しません

(3) いただいた情報の利用と開示

- ・ いただいた情報は、今後の運営やその見直しを行う上で活用させていただき、原則、外部に開示いたしません。
- ・ いただいた情報について対価はお支払いいたしません。
- ・ 特定の目的のために調達を行う際は、改めて募集を行う場合がございます。

(4) いただいた情報への回答

- ・ 個別の情報に対する回答やフィードバックは原則いたしません。
- ・ いただいた情報について、当法人より説明をお願いする場合がございます。

以上